



豊能町



池田泉州銀行

2021年3月25日
大阪府豊能町
株式会社池田泉州銀行

大阪府豊能町と株式会社池田泉州銀行は「未来へのまち活協定」を締結します。

大阪府豊能町（町長 塩川恒敏）と株式会社池田泉州銀行（代表取締役頭取 CEO 鵜川 淳）は、住民サービスの向上及び地域社会の活性化を推進するため、パートナーシップの構築に取り組むという観点から地域が抱える社会課題に対して、自治体と民間企業等が強みを生かして協力しながら課題解決に対応するため未来へのまち活協定を締結します。

なお、豊能町が金融機関含め民間企業と連携協定を締結するのは本件が初めてです。

【目的】

それぞれの持ち得る資源を有効に活用し、綿密な相互連携と協力のもと、地域活力の増進、地域経済の発展および住民サービスの向上を図ることを目的としています。

【背景】

自治体においては、住民の行政サービスに対するニーズの多様化に柔軟に対応するため行政単体の活動だけでなく、企業やNPO、地域住民など様々な主体とあらゆる分野で連携し、社会全体で新たな活力や価値を創出していくことが不可欠となっている。

地域金融機関においては、社会的責任（CSR）に基づく社会貢献の取り組みや持続可能な開発目標（SDGs）達成のためのイノベーションへの取り組みが必要となっている。

【協定書調停式】

- (1) 締結日時 2021年3月26日（金）14：30より
- (2) 場所 豊能町役場2階 大会議室
- (3) 出席者 大阪府豊能町 町長 塩川 恒敏
株式会社池田泉州銀行 代表取締役頭取 CEO 鵜川 淳

【連携事項】

- (1) 地域コミュニティに関すること
- (2) 子育て・教育に関すること
- (3) 資源循環型社会の構築に関すること
- (4) 地域経済の活性化、雇用の創出及び企業・創業支援に関すること
- (5) 高齢者支援及び障害者支援に関すること
- (6) 地域の安全・安心に関すること
- (7) 住宅政策及び移住・定住促進に関すること
- (8) その他前条の目的の達成に関すること

【これからの取り組み】

「高齢者にやさしいまちづくり」「子育てしやすいまちづくり」をめざし、空き家対策などの地域課題に取り組む予定です。

以上